

民間伝承×地図 Folklore Map Project

～デジタル技術で紡ぐ、日本の伝承と記憶～

民間伝承/ folkrore とは
古くから民間に伝わる習俗、諺、伝説、歌謡、舞踊、昔話などの文化遺産の総称で、伝説、昔話、妖怪譚、神話などが含まれる

思索駆動コース 29C 濱本逢香

やりたいこと
誰でも、地図上で自由に検索・投稿できる民間伝承のプラットフォームをつくりたい！

出来たこと
・古地図とGoogle Mapsの重ね合わせ、土地の履歴を可視化するUIを実装
・伝承を投稿、検索、分類できる仕組みの構築
・運用のための管理者画面の作成

民間伝承×地図のメリット

- 1. 民間伝承は、場所・地域に結びついている**
地図に載せることで、どのような地域で語られてきた話なのか、どの地域に似た話が多いのか、直感的にわかる
- 2. 目に見えない「分布」を可視化できる**
伝承を点として記録すると、川沿いに水にまつわる話が集中している、崩落地帯の近くに山神の伝承が多いなど、分布のパターンが見えやすくなる
文章のテキストだけでは気づきにくい関係性（地形・インフラ・災害履歴との対応）を、視覚的に読み取れる
- 3. 専門家だけでなくアクセスしやすいUIである**
地図は、多くの人にとって見慣れたインターフェースであり、専門用語を使わずに誰でも簡単にクリックして場所とその土地に関する伝承を知るという体験を設計できる
テキスト中心の論文・資料よりも、触ってわかる入り口として民俗学への心理的なハードルを下げられる
- 4. 参加型のプラットフォームと相性がよい**
自分の知っている近所の祠、地元しか知らない昔話など、ローカルな知識を位置情報付きで投稿してもらえる
地図上に重ねることで、自分の暮らす場所にもこんな話があったと気づき、参加や共有の動機付けにつながる

古地図を組み合わせた理由

現代地図では、消えた川湿地・谷・旧街道といった痕跡は見えなくなっている→伝承に出た地名も分からない
古地図は、そうした失われた土地の記憶を復元し、伝承の背景を明らかにするために不可欠である

※ここでいう古地図とは明治時代の地図を指す
大正時代でも多くの自治体合併が行われたため、元の地名や地形を明確に示すべく、明治期の古地図を利用している

瑞祥地名とは 例:希望が丘
めでたい意味の言葉をそのまま使ったり、良い意味の言葉から創作されたりした地名のこと
→土地柄として、地形の条件がよくないことが多い

瑞祥地名 例:愛知県 名古屋市長天白区	評価軸	旧地名
潜在的 元の地名と全然違って分かりづらい	地名から分かる 災害リスク	顕在的 蛇は水害が多い地域によく付けられる名前
高い 瑞祥地名だったり、合併で地名が消えているため、調査が必要	伝承に出た地名を調べるコスト	低い 時代にかけて変遷するが、由来でつながりがみられることが多い

天白区は谷底地形のため、天白川氾濫の危険性が高い
2000年東海豪雨で区内全域が甚大な浸水被害を受けている

予言獣なのに疫病退散？ 予言獣「アマビエ」

コロナ禍中、旧Twitterで「アマビエチャレンジ」が大流行し、疫病退散を願う投稿が広がった。アマビエは江戸時代に疫病の到来を予言したが、その鎮護については一切言及されていない。それでも人々がご利益を信じて熱狂した姿は、江戸の人々も現代の私たちも、不測の事態に直面すれば何かにはすがり、見守られたいという普遍的な心を映し出しているのかもしれない。

②現代地図と古地図の重ね合わせ

古地図ボタンを選択すると、明治時代以降の65地域で古地図が現代地図の上に重ねて表示される
比較モードや透明度調整により、自分の見やすい表示にカスタマイズできる設計となっている

③キーワード検索

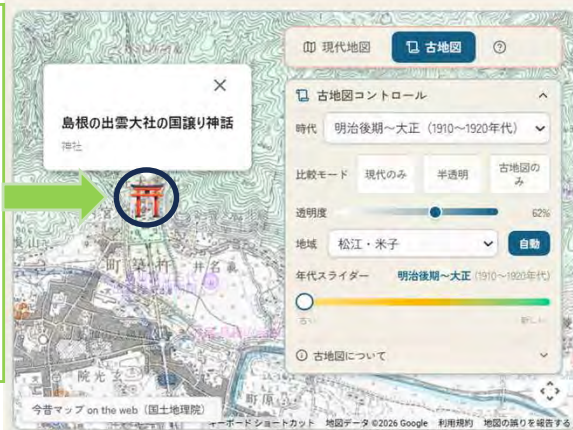
都道府県、伝承、時代、物語に出てくる単語などからキーワードの検索出来る

④フィルター検索

キーワード検索の横のフィルターを押すと、カテゴリー別からアイコンを選択でき、地名や時代を検索可能である

①アイコン

- ・鬼
 - ・狐/稲荷
 - ・犬/番犬
 - ・龍/龍神
 - ・寺院
 - ・神社
 - ・動物全般
 - ・その他
- 8種類のアイコンが実装されている



キーワードで検索

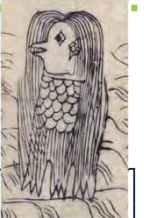
フィルター

⑤スポット一覧

伝承は都道府県順にのせられている
現在177件公開している

その他の機能

- ・いいね機能
各伝承に「いいね」を付けることができ、どのくらい集まったかも確認できる
- ・投稿機能
伝承を投稿する際には、必ず出典の記入を求めている。投稿内容は即時公開されるのではなく、一度運営側で確認した上で掲載可否を判断する
- ・削除要請
間違った伝承や悪質な投稿には削除要請が出来るように設定されている



作品のQRコード



これから

- ・Google Maps上のピン位置精度の向上する
- ・古地図レイヤの拡充（地域・年代拡張）する
- ・投稿された伝承の信頼度を向上させる
- ・ユーザー数、投稿数を増やすために、伝承の10万件・100万件規模への拡張設計を行う

まとめ

私は、本プロジェクトを多くの方に活用していただき、10年、20年と継続して伝承を集めていきたいと考えています。本プロジェクトがきっかけとなり、民間伝承の面白さや民俗資料の大切さに触れ、その地を実際に訪れたり、身近な民俗資料館や伝承館へ足を運ぶ人が増えていけばと願っています。

そして、なぜその土地に物語が生まれたのか、どうして失われずに語り継がれてきたのか、という理由を理解し、未来へ受け継ぐべき記憶として大切にしていだければ嬉しいです。

Git HubのURL : <https://github.com/4649-jp/folklore-map>

参考資料 今昔マップ on the web <https://ktgis.net/kjmapw/>
『肥後国海中の怪(アマビエの図)』(京都大学附属図書館所蔵)

謝辞 思索駆動コースの皆さんをはじめ、SecHack365 2025の運営・関係者の方々に心より感謝申し上げます。たくさんの方の刺激をもらった、充実した一年でした。